

Retrofit instructions

Bracket kit 481257



für ROTAX[®]-Motoren Type / for ROTAX[®]-engines type

125 MAX evo

125 JUNIOR MAX evo

125 MINI MAX evo

125 MICRO MAX evo

Produktion / *Production*: 2015

Ausführung / *Configuration*: . 125 MAX / 35.0125.140

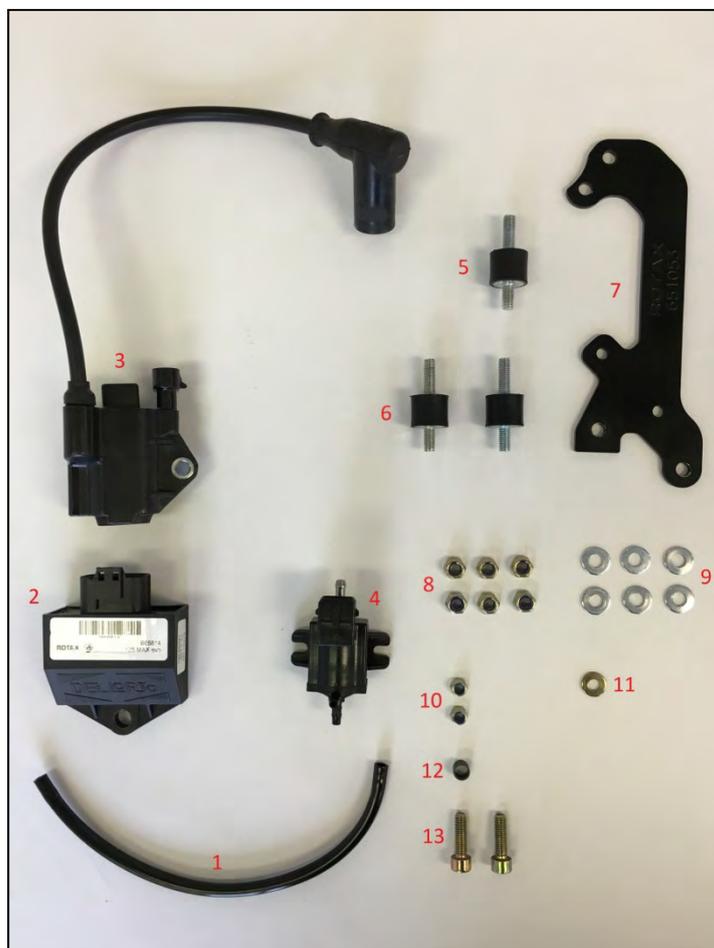
125 Junior MAX / 35.0125.130

125 Micro MAX / 35.0125.137

Nr. / *No.*: 01

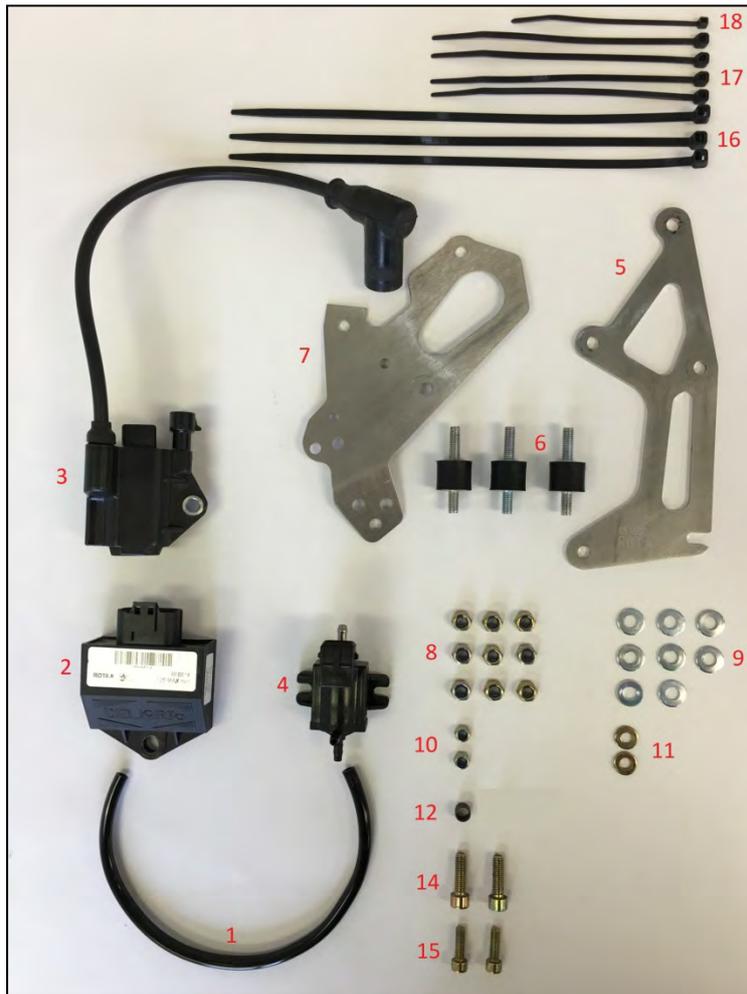
Ausgabe / *Edition*: 10/2015

(旧) 構成部品一覧

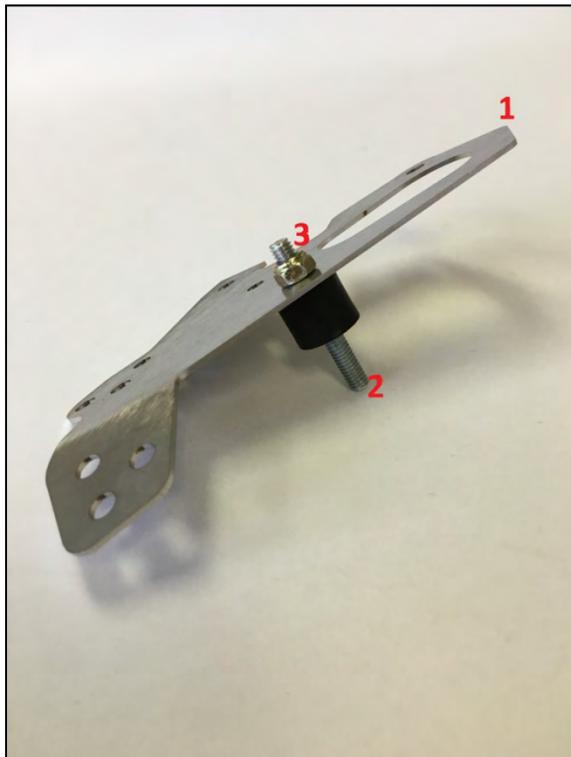


No.	Part. No.	Name	Qty.	改良版での使用は？
1	660 575	プレッシャーライン 220 mm	1	不要
2	666 814	E-BOX	1	必要
3	660 825	イグニッションコイル	1	必要
4	664 630	ソレノイドバルブ	1	必要
5	660 775	ラバーステー 10x16xM5	1	不要
6	660 520	ラバーステー 18x15xM6	2	必要
7	651 053	取付ステー (旧)	1	不要
8	842 040	ロックナット M6	6	必要
9	244 211	ワッシャー 6,4	6	必要
10	842 030	ロックナット M5	2	必要
11	927 571	ワッシャー 5,3	1	不要
12	847 540	スリーブ	1	必要
13	241 930	六角穴ネジ M6x20	2	必要

ブラケットキット 481 257 + (旧) 構成部品一覧



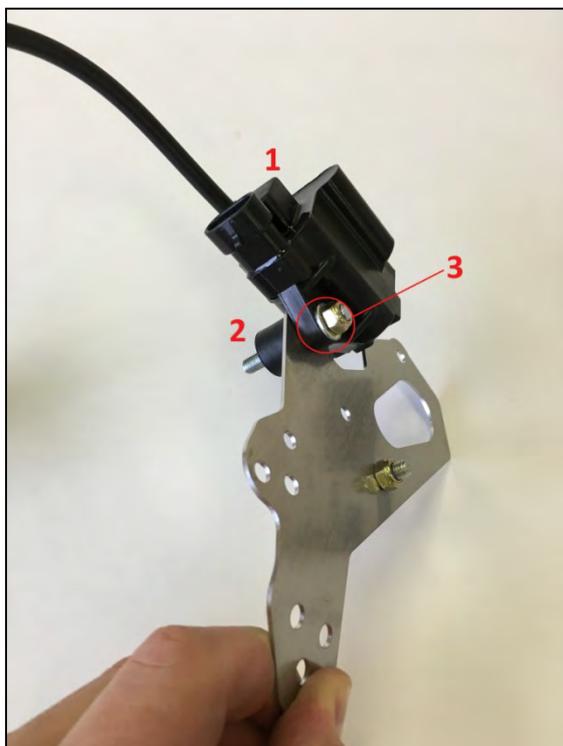
No.	Part. No.	Name	Qty.	部品概要
1	660 574	プレッシャーライン 280 mm	1	新パーツ
2	666 814	E-BOX	1	旧パーツ
3	660 825	イグニッションコイル	1	旧パーツ
4	664 630	ソレノイドバルブ	1	旧パーツ
5	651 930	エンジン取付ステー MAX	1	新パーツ
6	660 520	ラバーステー 18x15xM6	3	数追加
7	651 920	部品取付プレート	1	新パーツ
8	842 040	ロックナット M6	9	数追加
9	244 211	ワッシャー 6.4	8	数追加
10	842 030	ロックナット M5	2	旧パーツ
11	827 800	ワッシャー 5.5	2	新パーツ
12	847 540	スリーブ	1	旧パーツ
14	241 930	六角穴ネジ M6x20	2	旧パーツ
15	840 511	六角穴ネジ M5x16	2	新パーツ
16	651 397	タイラップ 長	3	新パーツ
17	866 714	タイラップ 中	4	新パーツ
18	866 718	タイラップ 短	1	新パーツ



STEP 1

2 のラバーステー M6(**No.6**) を **1** の部品
取付けプレート(**No.7**)に取付けます。

注釈: **3** の様にロックナット M6 (**No.8**)
でラバーステーM6(**No.6**)の短い方を締
付けます。



STEP 2

1 のイグニッションコイル (**No.3**) を **2**
のラバーステー M6 (**No.6**)を使い **3** の様
にロックナット M6(**No.8**)とワッシャー
6.4 (**No.9**) で部品取付けプレート(**No.7**)
に取付けます。

注釈: **3** の様にロックナット M6(**No.8**)
で **2** のラバーステーM6(**No.6**)の長い方
に締付けます。

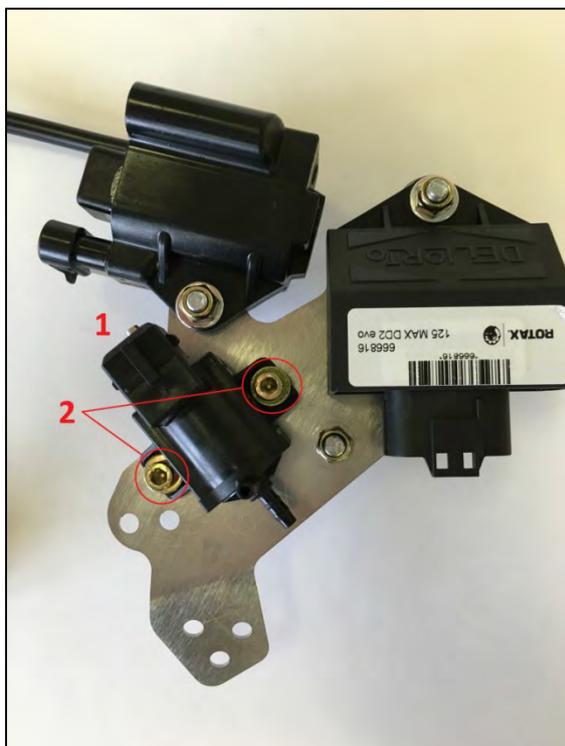


STEP 3

1 の E-BOX(**No.2**)を **2** の様にラバーステアーM6 (**No.6**)、スリーブ(**No.12**)、ワッシャー6.4(**No.9**)、ロックナット M6(**No.8**)で部品取付プレート(**No.7**)に取付けます。

注釈: **2** の様にロックナット M6(**No.8**)でラバーステアーM6(**No.6**)の長い方を締付けます。

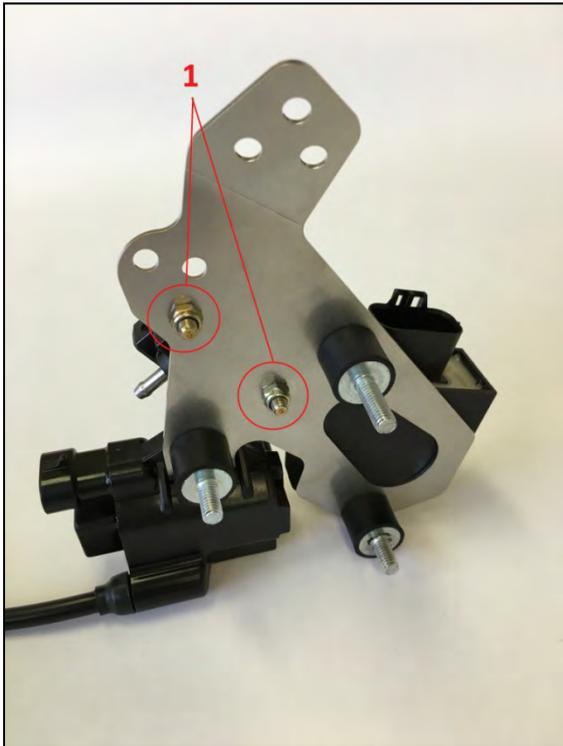
重要: E-BOX(**No.2**)は **3** の位置で部品取付けプレート(**No.7**)と同じ角度で取付けられていなければなりません。
レギュレーションです。



STEP 4

1 のソレノイドバルブ (**No.4**) を **2** の様に2つの六角穴ネジ M5 (**No.15**)、と2つのワッシャー5.5(**No.11**)で部品取付けプレート(**No.7**)に取付けます。

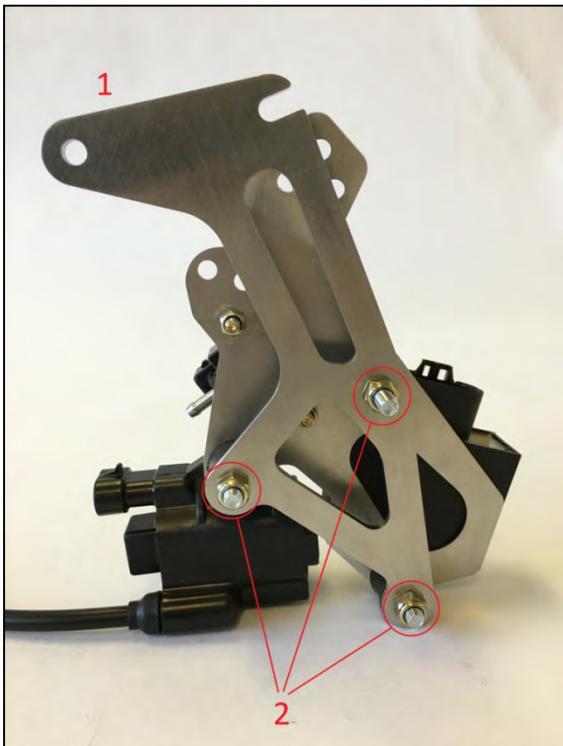
注釈: ソレノイドバルブ (**No.4**) を使用しないモデル(Junior/Mini/Micro)では **2** の穴を使いダミープラグ (666900)をこの位置に取付けます。



STEP 5

1 の様に部品取付けプレート(**No.7**)の裏側でソレノイドバルブ (**No.4**) をロックナット M5 (**No.10**) で締付けます。

注釈: ワッシャーは必要ありません。

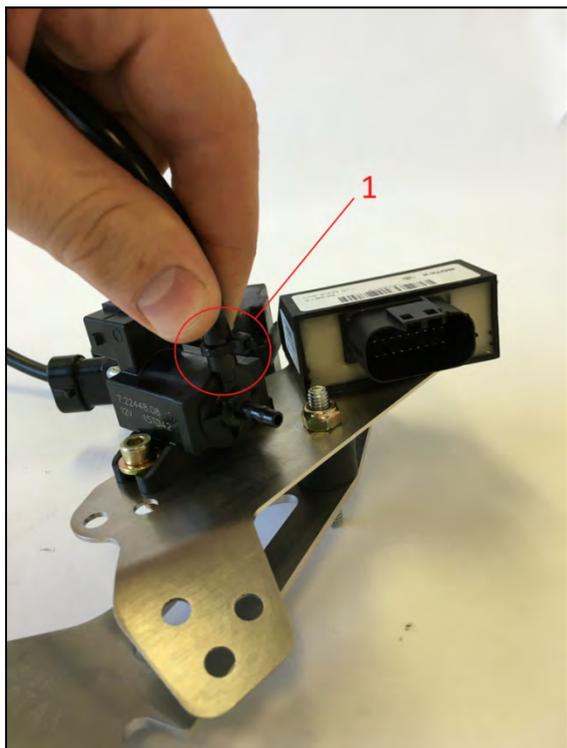


STEP 6

1 のエンジン取付ステーMAX(**No.5**)を写真と同じ位置に **2** の様にロックナット M6(**No.8**) を使いラバーステーに締付けます。

注釈: アース線を付けるために **1** つのネジは他の **2** つのネジより長く出ているはずですが。(STEP 13 参照)

注釈: ワッシャーは必要ありません。



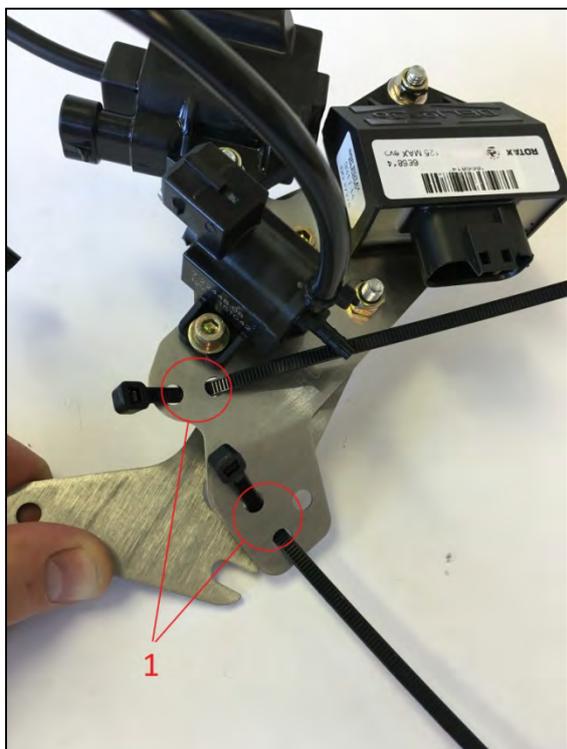
STEP 7

1 の様にプレッシャーライン 280mm(**No.1**) をソレノイドバルブ (**No.4**) に取付けます。

注釈: 外れないようにタイラップ短 (**No.18**) でしっかりと締めます。

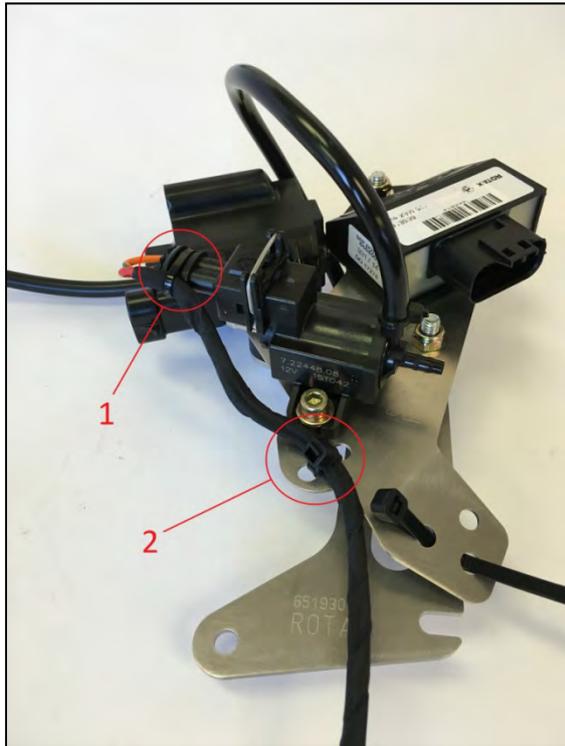
重要: プレッシャーラインの長さを変更されております。

新	660 574	プレッシャーライン 280 mm
旧	660 575	プレッシャーライン 220 mm



STEP 8

1 の様にタイラップ長(**No.16**) を正しい位置に通してください。

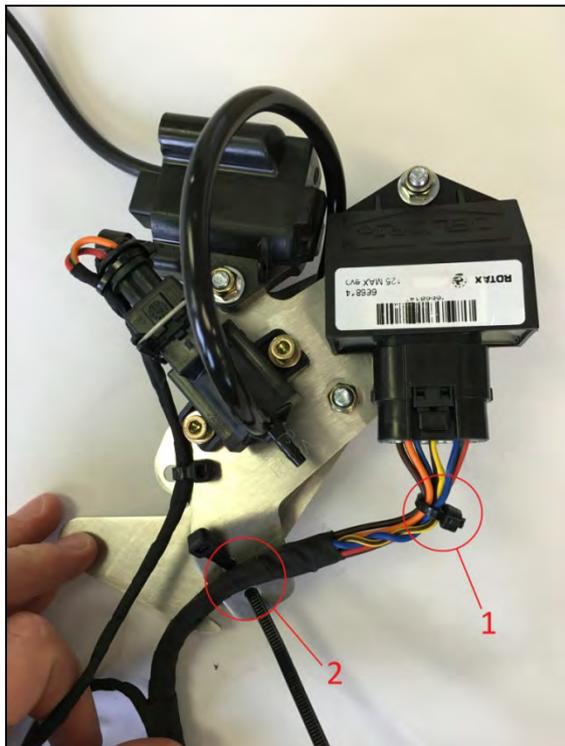


STEP 9

ソレノイドバルブ(No.4)にカップラーを接続してください。

注釈: 1 の様にタイラップ中(No.17)でワイヤーハーネス(666 831)を留めて下さい。ハーネスが写真とは反対側に有った場合は、注意深くひねって写真と同じ方向にして下さい。

2 の様にハーネスをタイラップで留めて下さい、ハーネスを留めるのはこのタイラップのみで行って下さい。



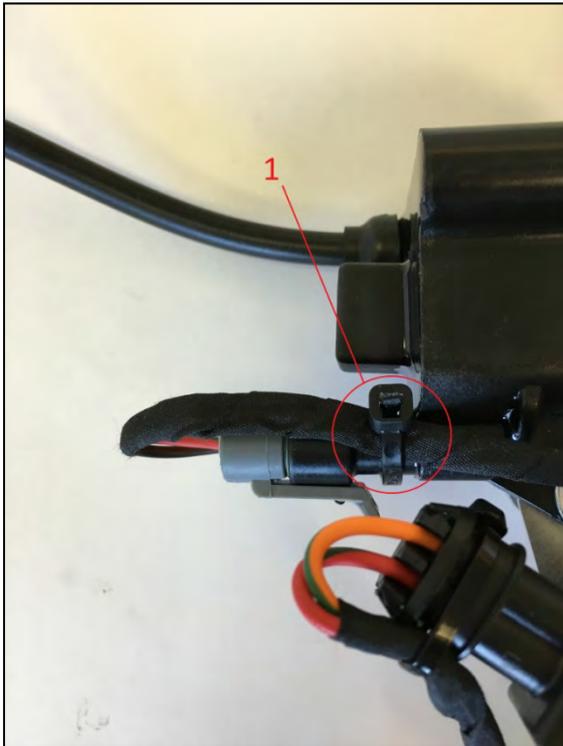
STEP 10

E-BOX にカップラーを繋いで下さい。

1 の位置でケーブルをタイラップ中(No.17)で束ねて下さい。(カップラーから約 20mm の位置になります)

重要: それぞれのケーブルへの振動を防ぐためにこの手順が必ず必要です。

2 の位置にケーブルを沿わせませす。

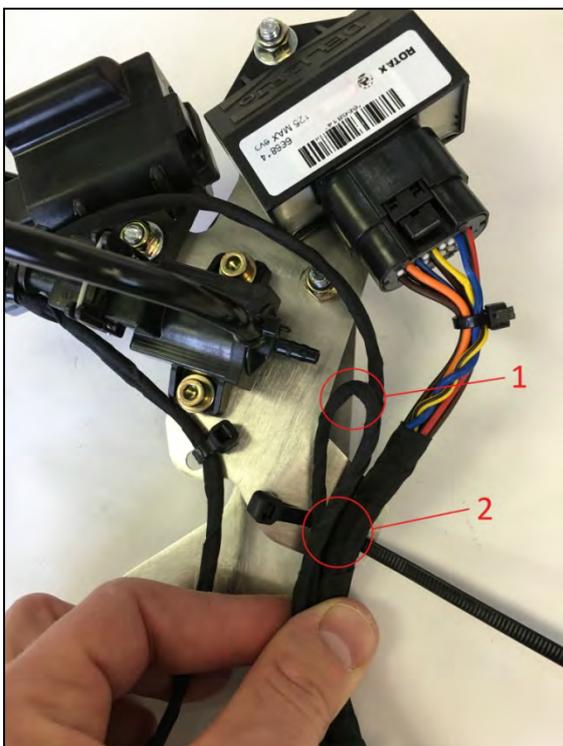


STEP 11

イグニッションコイルにカプラーを接続して下さい。

1 の様にタイラップ中(**No.17**)でワイヤーハーネスをイグニッションコイルに留めて下さい。

重要: ケーブルへの振動を防ぐためにこの手順が必ず必要です。



STEP 12

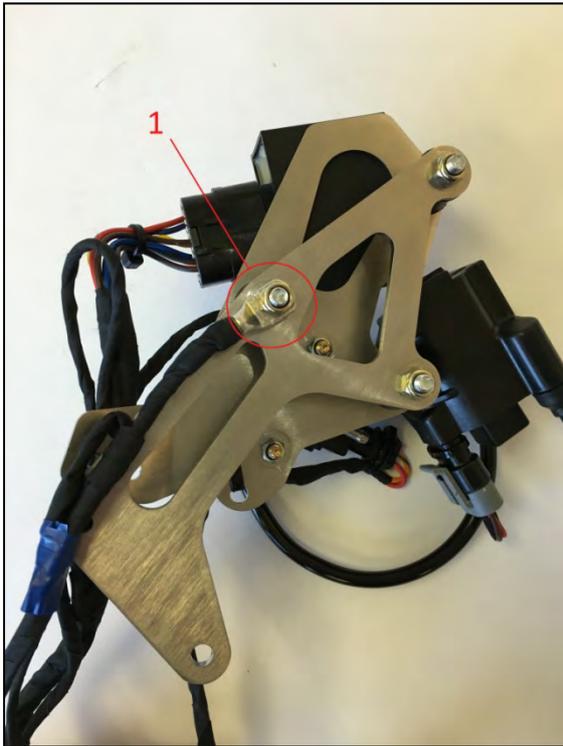
1 の様にシフトコンタクトケーブルに輪を作って下さい。

2 の位置でタイラップで留めます。これにより部品取付プレートの正しい位置に下記のケーブルを保持することになります。

E-BOX ケーブル

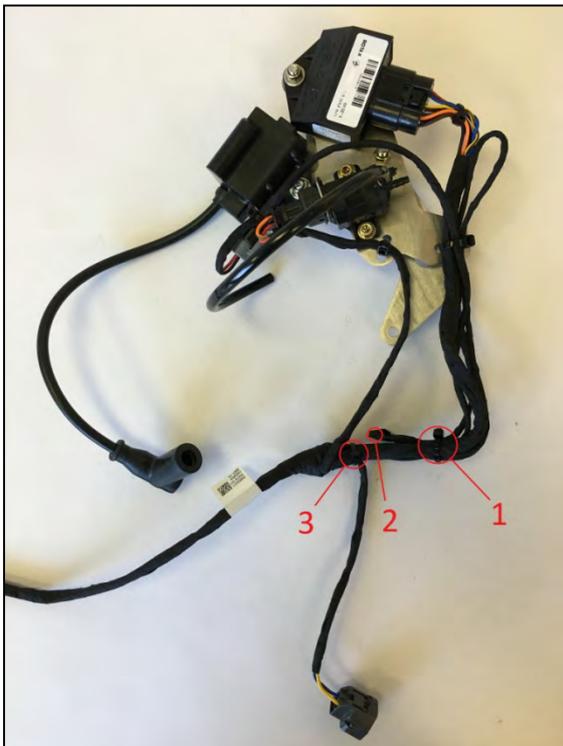
イグニッションコイルケーブル

輪を作ったコンタクトケーブル



STEP 13

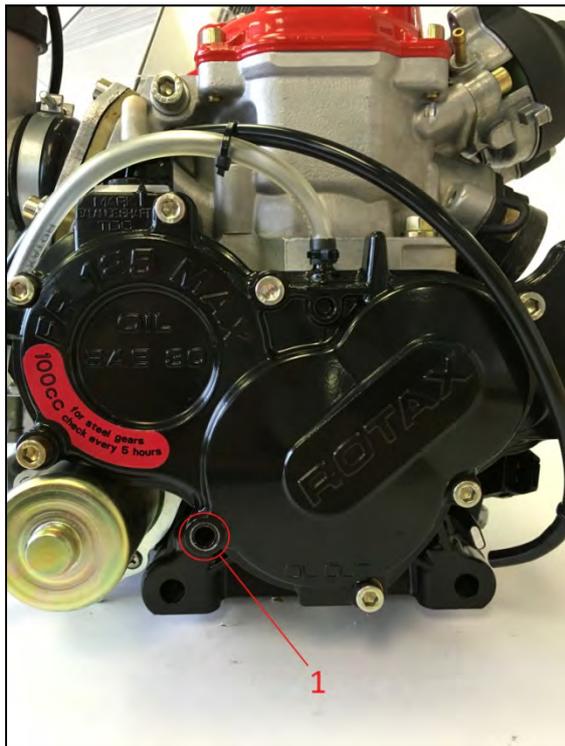
アース線（旧タイプではシリンダーヘッドカバーにネジ止めしていた物）を **1** の位置にロックナット **M6(No.8)** を使いネジ止めして下さい。



STEP 14

1 の様にタイラップ中(**No.17**)でケーブルを留めて下さい。**2** の位置にシフトコンタクトケーブルが留められていることを確認して下さい。

別のタイラップ中(**No.17**)でピックアップセンサーコネクタへのケーブルを **3** の位置、ケーブル分岐の後で留めて下さい。



STEP 15

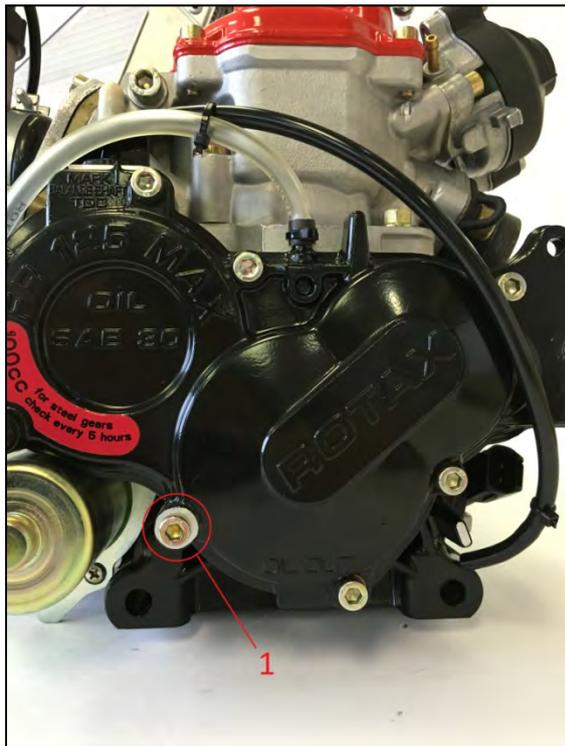
1 の位置のギアカバーボルト M6x20 を外します。



STEP 16

1 のヤスリ等で **2** の黒い塗装を剥がして下さい。

注釈: この作業はアースを取るのに必ず必要な作業です。



STEP 17

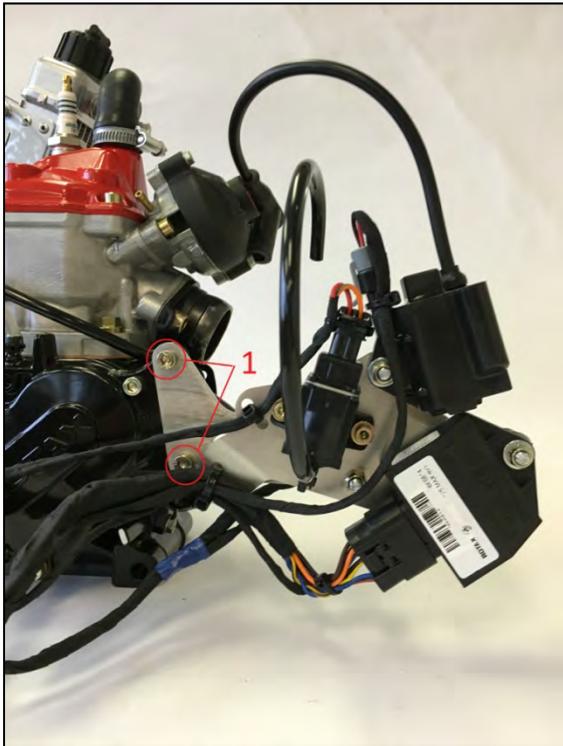
1 の様にギアカバーボルト M6x20 を 10 Nm で締付けます



STEP 18

1 の様にギアカバー後端の黒い塗装をヤスリ等で剥がします。

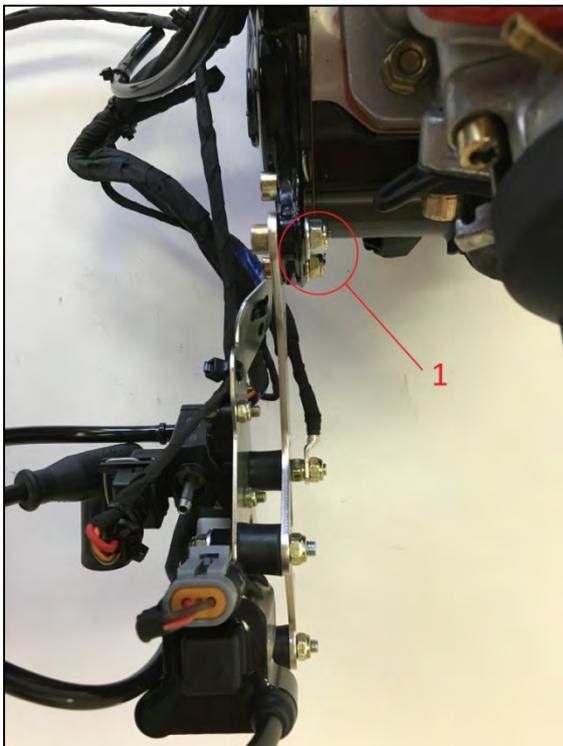
注釈: この作業はアースを取るのに必ず必要な作業です。



STEP 19

1 の様に六角穴ネジ **M6x20(No.14)** を使い組立てたブラケットキットを旧取付ステーがあった部分に取り付けます。

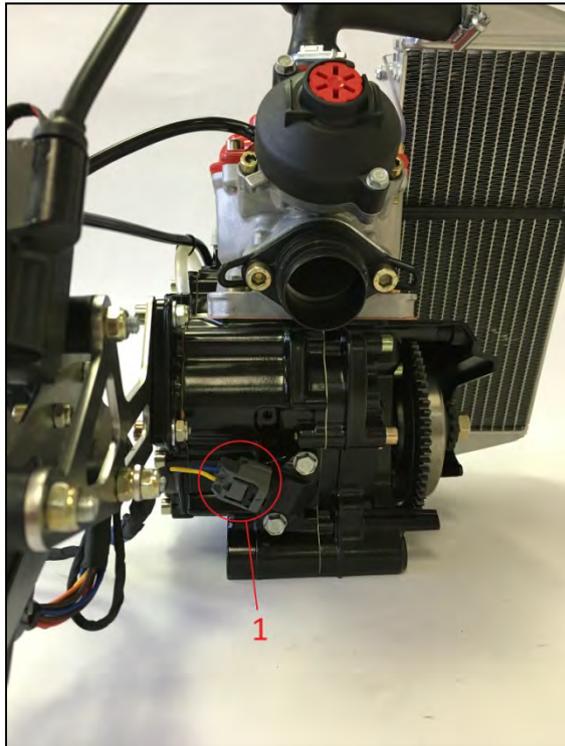
情報: エンジンをシャーシから取外す場合はこのネジを外して行って下さい。



STEP 20

1 の様にギアカバーとワッシャーの間が通電するようになっていることを確認して下さい。

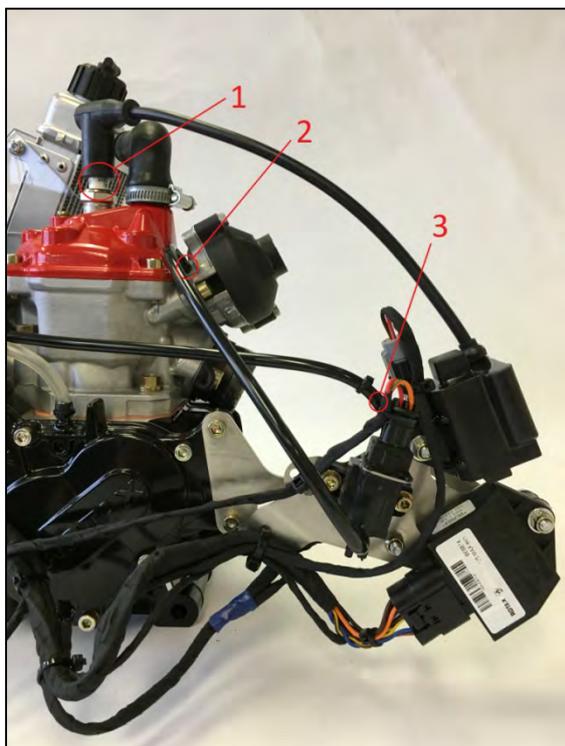
情報: ワッシャーを使用することは必須ではありませんが、ナイロンナットでしっかりと締付けられていることを確認して下さい。



STEP 21

1 の様にピックアップコネクタをピックアップに接続して下さい。

同様にスターターコネクタをスターターモーターに接続して下さい（写真無）

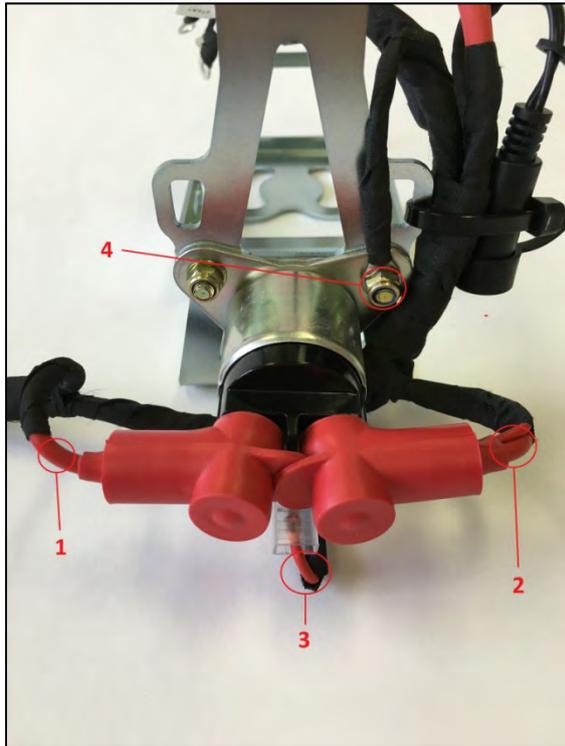


STEP 22

1 の様にプラグキャップをプラグに取付けます。

2 の様にプレッシャーライン 280 mm を排気バルブに取付けます。

3 の様に燃料ポンプ下の T-フィッティングから来た黒い負圧ホースをソレノイドバルブの金属コネクタに接続します。



STEP 23

1 の赤い **1** 本ケーブルをリレーの左側に接続します。

2 の赤い **2** 本ケーブルをリレーの右側に接続します。

3 の赤い **1** 本ケーブルをリレーの中央部分に接続します。

注釈: 透明の絶縁体が付いている物が中央ケーブルです。

4 の様にリレー取付部右側にアース線を取付けます。



STEP 24

1 の様にタイラップ長を使いケーブル類をバッテリーホルダーに留めます。

注釈: **2** の様にバッテリーチャージプラグも一緒に留められていることを確認して下さい。



STEP 25

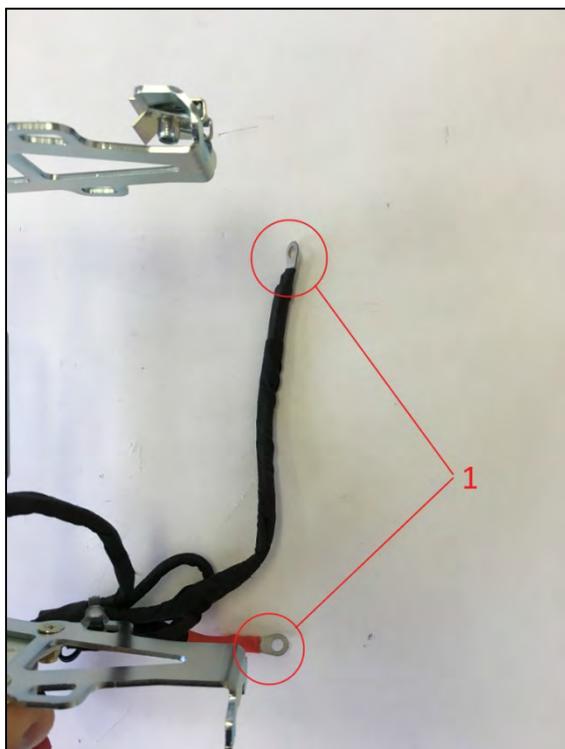
マルチスイッチの中央接続子に“CENTER”のケーブルを接続します。

マルチスイッチのイグニッション接続子に“IGNITION”のケーブルを接続します。

マルチスイッチのスタート接続子に“START”のケーブルを接続します。

注釈: ケーブルに付いているラベルを必ず確認して下さい。

注釈: マルチスイッチをバッテリーカバーから外すと作業がやりやすくなります。



STEP 26

バッテリーの(+)端子と(-)端子にケーブルを取付けます。

注釈: 1 の様に
(+)端子ケーブルは赤です。
(-)端子ケーブルは黒です。

全ての取付作業を確認しながら必ず行って下さい。取付が間違っている場合は、保証対象外となる場合が有ります。

